

## 横須賀市児童生徒読書活動調査（報告書）

令和8年（2026年）3月

横須賀市教育委員会

## 目 次

I	調査の概要	P 1
II	調査結果の概要	P 2
	1 児童生徒の読書活動の状況	P 2
	2 学校における読書活動推進の取り組みの状況	P19
	調査票	
	小・中学校児童生徒用 読書活動の状況 調査票	P30
	高等学校生徒用 読書活動の状況 調査票	P34
	小・中学校用 読書活動推進の取り組みの状況 調査票	P38
	高等学校用 読書活動推進の取り組みの状況 調査票	P41

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

本市児童生徒の読書活動と小・中学校における読書活動推進の取り組みの状況を把握し、第4次横須賀市子ども読書活動推進計画（令和4年度～令和7年度）掲載事業の効果検証と図書館や学校での今後の取り組みの参考とするため

### 2 調査の概要

#### (1) 児童生徒の読書活動の状況

##### ①調査内容

児童生徒の読書冊数や、読書についての意識、学校図書館の利用状況など

##### ②調査対象

市立小学校4～6年生、中学校、横須賀総合高等学校の各学年・年次の抽出1クラスの児童生徒

区分	回答者数	(参考) 児童生徒数 令和7年5月1日現在
小学校 (44校)	2,905人	(4～6年生) 8,017人
中学校 (23校)	1,890人	8,348人
高等学校 (全日制・定時制)	146人	1,129人
合計	4,941人	17,494人

#### (2) 学校における読書活動推進の取り組み状況

##### ①調査内容

読書推進の活動状況、ボランティアの活用状況、学校図書館の開館状況など

##### ②調査対象

市立小学校・中学校・横須賀総合高等学校

### 3 調査の実施時期

令和7年12月（調査対象基準は令和7年11月の1か月間）

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 児童生徒の読書活動の状況

#### (1) 11月1か月間の読書冊数

前年度と比べて、小学生と中学生でそれぞれ3.3冊減少、高校生は0.8冊の減少となった。全国平均との比較では、小学生は平均を下回り、中学生は同数、高校生は平均を上回る結果となっている。電子書籍の読書冊数は全校種で減少したが、全国平均を上回る状況にある。

不読率（1か月間に本を1冊も読まない児童生徒の割合）には改善傾向がみられた。小学生は3.9ポイント減少し、全国平均に近い数値まで改善した。中学生は不読率自体に大きな変化はないが、前年度に引き続き、全国平均を下回る結果を維持している。高校生の不読率は低下傾向にあり、全国平均を大きく下回る良好な結果となった。

#### 【1か月間に読んだ本の冊数 全国との比較】

( ) はうち電子書籍の冊数

小学生				(冊)		
区分 (令和)	横須賀市			全国		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
7年度	7.3 (1.6)	3.9 (0.9)	8.3 (1.9)	12.1 (1.3)	2.5 (0.3)	-
6年度	10.6 (2.2)	3.8 (1.1)	8.8 (2.4)	13.8 (1.5)	2.8 (0.4)	-
5年度	11.3 (1.9)	4.2 (1.2)	9.4 (1.9)	12.6 (1.0)	3.4 (0.4)	-
4年度	10.8 (2.8)	4.4 (1.4)	9.7 (3.2)	13.2 (1.0)	3.3 (0.4)	-

※全国数値：出典「第70回学校読書調査報告(全国学校図書館協議会)」(以下の表も同様)

調査基準 令和7年5月の1か月間

調査対象 全国の小学校45校、中学校52校、高校46校

小学生(4・5・6年生)3,354名

中学生(1・2・3年生)4,440名

高校生(1・2・3年生)4,238名

中学生 (冊)

区分 (令和)	横須賀市			全国		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
7年度	3.9 (1.2)	2.4 (0.9)	8.1 (3.3)	3.9 (0.6)	1.5 (0.4)	-
6年度	7.2 (2.9)	2.4 (1.0)	9.2 (4.4)	4.1 (0.7)	2.5 (0.6)	-
5年度	7.4 (2.7)	2.7 (1.1)	10.4 (4.1)	5.5 (0.9)	3.0 (0.7)	-
4年度	7.8 (3.4)	3.0 (1.1)	9.6 (4.7)	4.7 (0.7)	3.1 (0.7)	-

高校生 (冊)

区分 (令和)	横須賀市			全国		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
7年度	3.4 (2.2)	1.6 (0.7)	6.8 (4.1)	1.4 (0.3)	1.0 (0.3)	-
6年度	4.2 (2.9)	0.8 (0.4)	14.3 (9.0)	1.7 (0.4)	1.2 (0.3)	-
5年度	1.8 (0.9)	1.0 (0.6)	8.3 (5.1)	1.9 (0.4)	1.5 (0.6)	-

※高校生対象の調査は令和4年度未実施 (以下の表も同様)

【1か月間に読んだ紙の本の冊数別の割合】

(%)

区分	(令和)	平均冊数	0冊	1～4冊	5冊以上
小学生	7年度	5.7冊	12.7	50.9	36.4
	6年度	8.3冊	18.2	34.9	46.9
	5年度	9.4冊	11.9	36.4	51.8
	4年度	8.0冊	11.5	32.4	56.1
中学生	7年度	2.7冊	26.5	58.5	15.0
	6年度	4.3冊	27.5	47.4	25.1
	5年度	4.7冊	26.6	47.9	25.4
	4年度	4.4冊	27.9	43.2	28.9
高校生	7年度	1.2冊	44.8	51.0	4.2
	6年度	1.3冊	62.3	32.2	5.5
	5年度	0.9冊	63.1	31.2	5.7

【1か月間に読んだ電子書籍の冊数別の割合】

(%)

区分	(令和)	平均冊数	0冊	1～4冊	5冊以上
小学生	7年度	1.6冊	53.7	38.3	8.0
	6年度	2.2冊	67.4	21.4	11.1
	5年度	1.9冊	74.6	14.9	10.5
	4年度	2.8冊	62.5	18.5	19.1
中学生	7年度	1.2冊	63.9	29.1	7.0
	6年度	2.9冊	67.7	17.2	15.1
	5年度	2.7冊	69.9	16.4	13.7
	4年度	3.4冊	60.9	16.9	22.2
高校生	7年度	2.2冊	64.3	30.8	4.9
	6年度	2.9冊	84.6	11.2	4.2
	5年度	0.9冊	83.0	12.4	4.6

※雑誌やマンガを除く

【1か月間に読んだ紙の本と電子書籍ともに0冊の児童生徒の割合】

(%)

区分	(令和)	横須賀市	全国
小学生	7年度	10.7	9.6
	6年度	14.6	8.5
	5年度	10.6	7.0
	4年度	9.4	6.4
中学生	7年度	23.3	24.2
	6年度	22.2	23.4
	5年度	22.3	13.1
	4年度	21.4	18.6
高校生	7年度	37.0	55.7
	6年度	46.5	48.3
	5年度	55.8	43.5

※雑誌やマンガを除く

## (2) 電子書籍の利用状況

「利用する(①+②)」の割合は校種が上がるにつれて高くなっている。各校種とも「利用する(①+②)」の割合に大きな変化は見られなかったが、小学生では「④利用したことがない」の回答割合が前年度に比べて大きく減少(▲13.2ポイント)した。

区分(令和)		① よく利用する	② ときどき利用する	③ あまり利用しない	④ 利用したことがない	無効回答
小学生	7年度	9.6	19.2	38.6	32.6	0.0
	6年度	11.1	16.4	26.7	45.8	0.0
	5年度	9.8	13.7	24.1	52.3	0.0
	4年度	14.4	17.6	22.0	45.9	0.0
中学生	7年度	18.8	21.0	27.0	33.2	0.0
	6年度	21.1	20.5	27.3	31.1	0.0
	5年度	20.7	21.8	26.5	31.0	0.0
	4年度	27.7	22.1	23.3	26.9	0.0
高校生	7年度	38.3	19.9	24.7	17.1	0.0
	6年度	30.6	29.3	19.7	16.6	3.8
	5年度	32.1	27.3	20.6	18.8	1.2

## (3) 紙の本と電子書籍のどちらを読みたいか

全ての校種で電子書籍より紙の本を希望する割合が高く、前年度との比較では、特に小学生にその傾向が見られる結果となった。一方で、高校生は約半数が「電子書籍を読みたい」「両方読みたい」と回答している。

また、小・中学生では「両方読みたい」の割合が減少、「両方読みたくない」の割合が増加傾向にある。

区分(令和)		紙の本	電子書籍	両方読みたい	両方読みたくない	無効回答
小学生	7年度	57.1	9.7	20.8	12.4	0.0
	6年度	48.2	14.8	25.7	11.1	0.0
	5年度	52.3	12.2	26.3	9.1	0.0
	4年度	45.1	14.9	33.5	6.5	0.0
中学生	7年度	45.2	15.6	21.5	15.3	2.4
	6年度	41.1	20.3	28.7	9.9	0.1
	5年度	40.9	20.3	28.4	10.3	0.1
	4年度	35.9	24.1	31.2	8.7	0.0
高校生	7年度	42.5	21.2	27.4	6.8	2.1
	6年度	40.8	20.4	26.8	7.6	4.5
	5年度	46.7	17.6	31.5	2.4	1.8

#### (4) 自分で興味を持って選んだ本の有無

回答対象は1冊以上読んだ児童生徒。読書における主体性を測る設問。小学生は昨年度と比べて「ある」の割合が13.5ポイント上昇、中学生では9.3ポイント上昇し、これまでの低下傾向とは異なる状況が見られた。

(%)

区分 (令和)		ある	ない	無効回答
小学生 n=2,594	7年度	85.7	11.2	3.1
	6年度	72.2	21.5	6.3
	5年度	77.7	22.2	0.1
	4年度	77.9	18.8	3.3
中学生 n=1,450	7年度	85.2	12.4	2.4
	6年度	75.9	20.4	3.7
	5年度	77.1	22.4	0.5
	4年度	77.6	22.4	0.0
高校生 n=92	7年度	82.6	14.1	3.3
	6年度	94.0	6.0	0.0
	5年度	84.1	5.8	10.1

#### (5) これまでに読んだ本のジャンル

全校種で「物語、小説等」の割合が最も高く、次に「スポーツ、芸術」が続く。また、小学生では「自然科学」や「技術」、高校生では「心や人生について考える本」の割合が他の校種に比べて高いという特徴が見られる。

複数回答可 (%)

ジャンル	小学生	中学生	高校生
物語、小説、詩、エッセイ、絵本など	76.8	81.7	88.4
スポーツ、芸術（音楽、美術、写真など）	38.7	38.4	38.4
自然科学（数学、宇宙、動物、虫、植物など）	38.4	27.6	23.3
調べるための本（辞典、図鑑、地域資料など）	34.3	29.7	24.0
技術（もの作り・料理・手芸）や機械、乗物など	32.6	22.5	17.1
日本や外国の歴史・地理	26.0	20.8	19.9
いろいろな仕事（農業、漁業、商業など）	21.3	14.7	13.7
言葉（日本語や外国語、方言など）	19.5	19.2	21.9
心や人生について考える本	18.1	23.4	31.5
社会の仕組みや民族の文化	17.6	14.8	11.0
なし	5.4	7.8	5.5
無回答	0.0	0.0	1.4

(6) 本を読んでよかったこと、役に立ったこと（自由記述回答の抜粋）

小学生・中学生・高校生共通

- ・知識が増え、想像力が豊かになった
- ・インターネットより、分かりやすく正確な情報源として使えた
- ・読解力がつき、テストや授業、レポートなどで役立った
- ・語彙が増え、自分の感情や考えを正確に言語化できるようになった
- ・リラックスでき、集中力が上がった

小学生・中学生共通

- ・スポーツや趣味の役に立った。コツがわかった

中学生・高校生共通

- ・物事に対しての考え方や捉え方が広がる

小学生

- ・手話を覚えられた
- ・面白い作品を探すのが楽しい
- ・将来の夢が決まった
- ・新たな視点が生まれたり、新たな感情が生まれた
- ・寝る前に読むと、よく寝られる
- ・スマホと違い、脳もリラックスできた
- ・パソコンやスマホを使うときのリスクに気づけた
- ・人の感情がわかるようになった
- ・嫌なことを忘れられた

中学生

- ・学校図書館で友だちができた
- ・想像もしなかった考え方や解決方法を知ることができた
- ・心に響く言葉が見つかった
- ・夏休みの読書感想文で賞をもらった

高校生

- ・スマホより本で時間をつぶしたほうが気分がよい
- ・文章題を読むスピードが格段に上がった

### (7) もっと本を読むための効果的な工夫

全校種で「学校で定期的に読書をする時間をつくる」の割合が最も大きい。「学校図書館に読みたいと思う本を増やす」「学校で使用するPCで電子書籍が利用できる」を含めると、小・中学生では6割以上を占める。また、高校生は自由時間が増えることを選択する割合が小・中学生に比べて高い。

効果的な工夫	小学生	中学生	高校生
学校で定期的に読書をする時間をつくる	37.2	32.0	37.7
学校図書館に読みたいと思う本を増やす	17.1	16.9	6.8
学校で使用するPCで「電子書籍」が利用できる	10.4	19.9	13.0
大人や友達が「おすすめの本」を教えてくれる	9.6	5.6	11.6
学校図書館を昼休みや放課後にいつも開ける	7.8	7.3	0.7
放課後や休日に自由時間が増える	6.6	9.1	17.1
市立図書館・図書室に読みたいと思う本を増やす	4.4	2.8	4.8
学校で使用するPCで市立図書館の本を予約できる	2.2	2.3	1.4
その他	4.7	4.3	2.1
無効回答	0.0	0.0	4.8

### 「その他」記述内容の抜粋

#### 小学生

- ・本の良さを伝える
- ・授業で学校図書館に行く回数を増やす
- ・学校のクロームブックで学校図書館の本を予約できるようにする
- ・自分のおすすめの本を皆に紹介する。おすすめの本を交換しあう
- ・学校図書館の本を紹介し、教室に展示する
- ・廊下などに人気がある本を展示する

#### 中学生

- ・各教室に本を置くスペースを作る
- ・学校図書館の貸出期限を延ばす
- ・話題のマンガを置く。教室から学校図書館の距離を近くする
- ・定期的に読みたい本のアンケートをとる
- ・学校図書館を部活動終了時刻まで開けてほしい
- ・読みたくないなら読まなくていいし、読みたい人が読むべきだと思う

#### 高校生

- ・読書のメリットをアピールする

### (8) 読書の好ききらい

「好き」「どちらかといえば好き」の合計は、小・中学生で減少傾向にあり、今回の調査で中学生は7割を切った。高校生は、小・中学生に比べて「好き」の割合が高い。

(%)

区分 (令和)		好き	どちらかとい えば好き	どちらかと いえばきらい	きらい	無効 回答
小学生	7年度	32.1	39.6	20.0	8.3	0.0
	6年度	36.2	38.1	18.2	7.5	0.0
	5年度	40.0	38.8	15.5	5.7	0.1
	4年度	39.9	39.9	14.1	6.0	0.0
中学生	7年度	31.9	37.9	18.8	11.4	0.0
	6年度	35.8	38.1	18.7	7.4	0.0
	5年度	36.3	37.9	17.7	8.1	0.1
	4年度	33.5	40.0	18.1	8.3	0.0
高校生	7年度	43.1	36.3	13.7	6.2	0.7
	6年度	35.7	41.4	13.4	3.8	5.7
	5年度	40.6	43.0	12.1	2.4	1.8

### (9) 本を読む目的

全校種で「好きなキャラクターやシリーズがあるから」と「絵を見るのが好き」という回答が多い。自由時間の楽しみとしての読書が上位を占めているが、「新しい知識や知らなかったことを知りたいから」といった情報収集・探究のための読書や、「なんだか落ち着く。ひとりになれる感じがする」「違う世界を想像したい」といった、リラックスする時間としての読書も比較的多く見られる。

本を読むことが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童生徒への設問  
複数回答可 (%)

目的	小学生	中学生	高校生
好きなキャラクターやシリーズがあるから	53.8	59.6	55.2
マンガや絵本など、絵を見るのが好きだから	46.0	50.2	54.3
新しい知識や知らなかったことを知りたいから	38.7	37.0	37.9
本を読むとなんだか落ち着く。ひとりになれる感じがするから	36.3	37.2	35.3
本の世界で違う世界を想像したいから	34.1	39.3	53.4
面白い本や話題の本を友だちと話したいから	25.9	29.0	30.2
授業や宿題で「読まなきゃいけない」から	18.2	17.8	14.7
困ったことや悩み事のヒントを本で探したいから	13.0	14.3	10.3
家族がよく本を読んでいるから	6.0	5.5	4.3
その他	7.9	4.7	3.4
無回答	0.5	0.5	3.4

※小学生 (n=2,082)、中学生 (n=1,318)、高校生 (n=116)

### 「その他」の内容 (抜粋)

#### 小学生

- ・家族と読むのが好きだから
- ・面白い作品に出合えたらうれしいから
- ・映画の原作が気になるから
- ・推しが本を出しているから

#### 中学生

- ・自分の好きなものをより深く知れるから
- ・好きな作家がいるから
- ・人生の在り方を教えてくれるから

#### 高校生

- ・勉強をしたくないから
- ・カルチャーを学べる
- ・文を読むのが好き

#### (10) 本を好きではない理由

全校種で「本を読んでいても、すぐにあきてしまうから」の回答が最も多い。また、「ゲームや動画、遊びなど他の楽しいことが多くて、読書に時間をとれない」の回答も多いことから、本を好きではない子どもにとってその最も大きな理由は、「本は楽しくないと感じていること」だと分かる。

#### 「きらい」「どちらかといえばきらい」と回答した児童生徒への設問

複数回答可 (%)

理由	小学生	中学生	高校生
本を読んでいても、すぐにあきてしまうから	50.4	64.0	44.8
ゲームや動画、遊びなど他の楽しいことが多くて読書に時間をとれない	45.9	40.0	27.6
漢字や言葉が難しくて内容がわからないから	23.9	21.9	13.8
読みたくない本を無理やり読まされたことがある	22.1	21.7	10.3
どの本を選んだらよいかわからず迷ってしまう	16.2	17.3	13.8
家や身のまわりに本がなくて、読むきっかけがなかったから	8.0	10.0	10.3
学校の読書感想文などで、読書が「しなきゃいけないもの」になったから	6.6	8.6	3.4
大人や先生に「こういう本を読め」と決められてつまらなかったから	4.0	3.8	6.9
本を読んでいたら、友だちや家族にからかわれた	2.3	1.6	0.0
その他	15.3	15.4	10.3
無回答	1.8	1.9	10.3

※小学生 (n=823)、中学生 (n=572)、高校生 (n=29)

#### 「その他」の内容 (抜粋)

##### 小学生

- ・習い事で本を読む時間がない
- ・本に時間を使うのがもったいないから
- ・面白くないし、時間の無駄
- ・本を読む理由がない
- ・本に興味がないし、長い文章を読むのが嫌だから
- ・静かにするのが苦手だから
- ・本を読むことに楽しさを感じないから
- ・読み聞かせをしてもらうのはいいけど読むのは嫌い

### 中学生

- ・目が疲れるし、読むことを面白いと思わないから
- ・時間の無駄だから
- ・読んでいると頭が痛くなる
- ・文字を見ると眠くなる
- ・読む理由がない
- ・興味を惹かれる本がない
- ・読書時間のない習慣ができてしまっているから

### 高校生

- ・時間の無駄

## (11) 日常生活での自由時間の過ごし方

全校種で「YouTube や SNS をみる」の回答が最も多く、特に中学生、高校生では約9割を占める。次いで「ゲームをする」「音楽をきく」が多い。「本を読む」は約2割であり、小学生では、選択肢（その他を除く）の中で最も低い結果となった。

複数回答可 (%)

自由時間の過ごし方	小学生	中学生	高校生
YouTube や SNS をみる	69.7	87.7	91.8
ゲームをする	66.8	66.6	63.7
スポーツや外遊びをする	50.3	45.9	33.6
音楽をきく	47.1	73.4	74.7
テレビ番組をみる	40.7	39.7	33.6
勉強をする	35.2	45.0	21.2
絵やイラストをかく	30.7	22.2	21.9
マンガを読む	29.6	34.2	40.4
本を読む（電子書籍を含む）	23.2	23.6	22.6
その他	9.1	5.4	3.4
無回答	0.0	0.0	2.1

## 「その他」の内容（抜粋）

### 小学生

- ・習い事（バレエ、ピアノ、塾、新体操、そろばん、習字、プログラミング、ほか）
- ・家の中で遊ぶ（カードゲーム、折り紙、レゴ、パズル、アクアビーズ、人形、麻雀、ほか）

- ・趣味の活動（手芸、カメラ、昆虫標本、工作、プラモデル、ピアノ、アニメ鑑賞、小説を書く、料理、シール帳作成、動画投稿、動画編集、歌を歌う、推し活、星空観察、パソコン、ほか）
- ・友達や家族との会話
- ・ペットの世話
- ・家事や手伝い（部屋の片づけ、掃除、買い物）
- ・睡眠、考え事をしたりぼーっとする
- ・散歩

### 中学生

- ・習い事（バレエ、ピアノ、塾、サッカー、ほか）
- ・練習をする（ダンス、ストレッチ、ピアノ、ギター、ドラム、筋トレ、有酸素運動、バイオリン、ほか）
- ・家の中で遊ぶ（カードゲーム、けん玉、ほか）
- ・趣味の活動（手芸、工作、昆虫採集、釣り、プラモデル、ギター、ピアノ、ダンス、アニメ鑑賞、木工、ゲーム制作、動画編集、推し活、作詞作曲、ほか）
- ・友達や兄弟姉妹と遊ぶ
- ・ペットの世話、ペットと遊ぶ
- ・睡眠
- ・部屋の片づけ、掃除
- ・散歩

### 高校生

- ・チャットGPTとお話する
- ・楽器演奏
- ・筋トレ
- ・映画を観る

(12) 幼少期に経験した読み聞かせの状況

全校種で「よく読んでもらった」の割合が最も高い。続く「ときどき読んでもらった」と合わせると、日常的に本を読んでもらっていた児童生徒は約8割を占める。

(%)

状況	小学校	中学校	高校
よく読んでもらった	49.9	50.8	52.0
ときどき読んでもらった	28.9	30.8	29.5
あまり読んでもらわなかった	5.3	5.3	5.5
読んでもらったことはない	1.8	1.1	1.4
覚えていない	14.1	12.0	9.6
無回答	0.0	0.0	2.0

《参考》全国の調査結果

【問】小さいころに、家の人に本を読んでもらったことがあるか (%)

区分	性別	よく読んでもらった	ときどき読んでもらった	あまり読んでもらわなかった	まったく読んでもらわなかった	不明
小学生	男子	42.3	36.2	12.5	8.7	0.4
	女子	49.0	35.5	9.8	5.5	0.3
中学生	男子	38.6	40.3	12.7	7.8	0.6
	女子	49.5	33.4	12.3	4.4	0.4
高校生	男子	35.4	41.0	15.2	8.1	0.2
	女子	51.6	32.9	11.6	3.7	0.2

(13) 授業以外での学校図書館の利用状況

小・中学生とも「あまり利用しない」の割合が最も高い。また、「利用したことがない」の割合が増加傾向にある。(%)

区分 (令和)		よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用したことがない	無効回答
小学生	7年度	11.8	32.8	44.5	10.9	0.0
	6年度	12.0	31.3	49.1	7.6	0.0
	5年度	12.6	32.6	47.7	7.1	0.1
	4年度	13.5	31.1	49.0	6.5	0.0
中学生	7年度	5.9	21.2	41.6	31.3	0.0
	6年度	6.3	17.5	46.8	29.5	0.0
	5年度	7.1	18.1	47.7	27.0	0.1
	4年度	6.3	17.3	45.7	30.7	0.0

(14) 学校図書館を利用しない理由

回答対象は学校図書館を「あまり利用しない」、「利用したことがない」と回答した児童生徒。小・中学生ともに「本に興味がない」という回答が最も多い。(%)

区分	本に興味がない	他にやりたいことや用事がある	本は買うなど手元にある	閉まっている、教室から遠い	その他	無効回答
小学生	35.7	19.4	18.5	8.8	16.8	0.8
中学生	39.3	25.0	16.1	10.9	8.5	0.2

※小学生 (n=1,608)、中学生 (n=1,378)

「その他」の内容 (抜粋)

小学生・中学生共通

- ・マンガがないから
- ・友達との時間を優先したいから
- ・学校の課題や係活動があるから
- ・読みたい本がない

小学生

- ・部屋が暗いから
- ・学級文庫の本で足りる

中学生

- ・昼休みの時間が少ないから
- ・本は電子が良いから

(15) 市立図書館の利用状況（高校生への質問）

「ほとんど利用しない」と「利用したことがない」の合計で7割以上を占める。

(%)

利用状況	割合
よく利用する	7.5
たまに利用する（数か月に1回程度）	17.1
ほとんど利用しない（年に1回行くかどうか）	45.9
利用したことがない	29.5
無回答	0.0

(16) 市立図書館を利用しない理由（高校生への質問）

回答対象は市立図書館を「ほとんど利用しない」「利用したことがない」を選択した生徒。「本に興味がないから」「本は買う・借りるなど、読む本が手元にあるから」の合計で約6割を占める。

(%)

理由	割合
クラブ活動や予備校など、他にやりたいことや用事があるから	20.9
学校図書館や電子書籍で用が足りるから	10.9
本は買う・借りるなど、読む本が手元にあるから	27.3
本に興味がないから	30.9
その他	8.2
無回答	1.8

n=110

「その他」の内容（抜粋）

- ・通学路にないから
- ・家が遠いから

(17) 横須賀市や横須賀市立図書館の情報の閲覧状況（高校生への質問）

市や図書館の情報媒体について、「見たことがない」が7割近くを占める。すべての媒体において、見たことのある生徒は多くても1割程度であり、高校生へ情報を伝えることの難しさが見受けられる。

複数回答可（％）

情報媒体	割合
広報よこすか	10.3
横須賀市ホームページ	13.0
横須賀市LINE	4.8
横須賀市X	4.8
市立図書館ホームページ	11.0
市立図書館X	0.7
見たことがない	67.8
その他	0.7
無回答	2.1

(18) 第4次横須賀市子ども読書活動推進計画の目標値との比較

指 標		目標 (令和7年度)	令和 7年度	令和 6年度	令和 5年度	令和 4年度
1 か月間の 平均読書冊数	小学生	9.6 冊	7.3 冊	10.6 冊	11.3 冊	10.8 冊
	中学生	4.7 冊	3.9 冊	7.2 冊	7.4 冊	7.8 冊
自分で興味を持って選んだ本を1か月に1回以上 読んだ子どもの割合	小学生	100%	85.7%	72.2%	77.7%	77.9%
	中学生	100%	85.2%	75.9%	77.1%	77.6%
本を読むことが好きな 子どもの割合	小学生	88.2%	71.7%	74.3%	78.8%	79.8%
	中学生	80.9%	69.8%	73.9%	74.2%	73.5%
	高校生	88.1%	79.5%	77.1%	83.6%	—

(19) 調査結果の分析

第4次子ども読書活動推進計画の最終年度である令和7年度の調査結果は、いずれも目標値に届かない結果となった。過去3年間の読書冊数は、小・中学生とも目標値を上回る状況が続いていたが、令和7年度は前年度と比べて、それぞれ3.3冊ずつ減少した。冊数別割合の状況（pp. 3-4）を見ると、紙の本も電子書籍も「0冊」および「5冊以上」の割合が減少し、「1～4冊」の割合が10ポイント以上増加している。全体的な読書冊数は減少した一方で、小学生・高校生の不読率の減少が今回の調査結果の特徴と言える。特に小学生では、電子書籍0冊の割合が13.7ポイント改善しており、これは電子図書館導入の効果も一定程度あるものと推察している。また、「自分で興味を持って選んだ本を1か月に1回以上読んだ子どもの割合」が小・中学生とも大きく増加していることも希望が持てる結果と受け止めている。

一方で、本を好きではない理由としては、「あきてしまう」「他に楽しいことが多くある」という回答が多く、「時間の無駄」という回答も見られた。自由時間の過ごし方では「YouTubeやSNS」「ゲーム」等が多く、日常生活の中で本を手取る機会は少なくなっている。そうした現状を踏まえ、学校と市立図書館との一層の連携を図り学校教育での図書資料の活用を進めるとともに、興味・関心ごとから読書につなげていく取り組みや読書のメリットを伝えていく取り組みも必要と考えている。

## 2 学校における読書活動推進の取り組みの状況

調査対象 小学校 44 校、中学校 23 校、総合高校

### (1) 今年度実施した読書推進に関する活動 (複数回答可)

回答	小学校	中学校	高校
定期的に読書時間を設ける (朝読書など)	39 校	14 校	0 校
読み聞かせ (おはなし会)	37 校	4 校	0 校
図書委員会による取り組み	44 校	21 校	1 校
読書週間等での読書イベント	34 校	8 校	0 校
読書感想画の取り組み	43 校	9 校	0 校
読書感想文の取り組み	34 校	17 校	0 校
ビブリオバトル	7 校	4 校	0 校
ブックトーク	9 校	6 校	0 校
その他	5 校	3 校	1 校

#### 「その他」の内容 (抜粋)

##### 小学校

- ・給食コラボ (本の内容に合う自校献立と本の読み聞かせを実施)
- ・まわし読み新聞 (新聞を持ち寄って好きな記事を切り取り、意見交換をしながら記事を貼って壁新聞を作り上げる)
- ・学校司書、図書館担当で全クラスに図書館オリエンテーションを実施
- ・先生のおすすめ本の紹介

##### 中学校

- ・プレゼンテーションソフトで図書館の本を紹介 (2年国語)
- ・学校司書による 昼の放送での本の紹介
- ・古本市

##### 高校

- ・文化祭で図書委員会が本の読み聞かせを実施
- ・国語の授業で「本を読んで、キャッチコピーを書こう！」という夏休みの課題を出し、本の貸出が増えた

## (2) 今年度の読書活動への図書ボランティアの活用状況

回答	小学校	中学校	高校
活用している	34校	8校	-
活用していない	10校	15校	1校

※「図書ボランティア」は名称に係わらず、教職員・学校司書以外の学校の読書活動に関わるすべての方を対象とする。

## (3) 図書ボランティアが実施する具体的な取り組み

「図書ボランティアを活用している」と回答した学校への設問 (複数回答可)

回答	小学校 (34校)	中学校 (8校)
読み聞かせ (おはなし会)	28校	0校
蔵書の受入・廃棄など	16校	6校
学校図書館の環境整備 (掃除・飾付など)	26校	5校
図書の貸出・返却	1校	0校
その他	4校	4校

### 「その他」の内容 (抜粋)

- ・授業参観時のリサイクル本配布
- ・本を紹介する掲示物 (廊下に掲示) の作成
- ・パネルシアターの開催
- ・今まで読んだ本を掲載した卒業記念冊子の作成
- ・蔵書管理システムへの移行作業
- ・学級文庫の環境整備 (掃除、図書の点検 (廃棄・修理))

## (4) 図書ボランティアを活用していない理由

「図書ボランティアを活用していない」と回答した学校への設問 (複数回答可)

回答	小学校 (10校)	中学校 (15校)	高校
活用したいが人員の確保が難しい	2校	3校	0校
どのような活動をしてもらえばよいか わからない	2校	2校	1校
必要性を感じない	5校	10校	0校
その他	3校	0校	0校

### 「その他」の主な内容

- ・打ち合わせの時間や業務の線引きが難しいため
- ・活用を始めるための検討をする余裕がないため
- ・教職員、学校司書で仕事ができているため

(5) 学校特別貸出の利用

回答	小学校	中学校
利用している	23 校	12 校
利用していない	21 校	11 校

(6) 学校特別貸出を利用していない理由

「利用していない」と回答した学校への設問

(複数回答可)

回答	小学校 (21 校)	中学校 (11 校)
手続きが繁雑、または分かりにくい	3 校	1 校
学校図書館にある本で用が足りるから	12 校	9 校
授業に必要なではないから	1 校	1 校
学校特別貸出の制度を知らなかった	2 校	1 校
その他	5 校	0 校

「その他」内容（抜粋）

- ・実際に本の中身を確認して借りたいから
- ・学校貸出カードと車があれば、授業に合わせて借りられる。早めに予約する手続きが手間

(7) 今年度の学校図書館の開館状況

回答	小学校	中学校
基本的に毎日開館している	42 校	17 校
休館日を設けている	2 校	6 校

(8) 学校図書館の利用指導（年 1 回以上のオリエンテーション）の実施状況

回答	小学校	中学校	高校
全学年で実施	43 校	15 校	-
一部の学年で実施	1 校	8 校	1 校
行っていない	0 校	0 校	-

(9) よこすか電子図書館の利用状況

回答	小学校	中学校
利用した	29校	7校
利用しなかった	15校	16校

(10) よこすか電子図書館を利用した場面 (複数回答可)

回答	小学校 (29校)	中学校 (7校)
朝読書で利用した	15校	3校
調べ学習で利用した	19校	2校
各教科で利用した	11校	3校
その他	3校	1校

「その他」の内容 (抜粋)

- ・ 支援級の自立の時間で活用した
- ・ 授業の中で、課題が終了した児童が自由学習として行う内容の一つとして電子図書館での読書を入れている

(11) よこすか電子図書館を利用しなかった理由 (複数回答可)

回答	小学校 (15校)	中学校 (16校)
紙の本を利用するので、電子図書館は利用しない	6校	7校
利用する時間がない	2校	10校
使い方がよく分からない	5校	0校
利用したい電子書籍が少ない	5校	5校
学校で使えることを知らなかった	0校	0校
その他	4校	1校

「その他」の主な内容

- ・ 活用方法を模索中
- ・ 学校図書館の本で対応できている
- ・ ログインの手続きが子どもにとって難しい
- ・ 周知に時間を割くことができなかった

## (12) よこすか電子図書館に希望すること

(複数回答可)

回答	小学校	中学校
電子図書館の使い方講習の実施	14校	9校
児童書読み放題パックの充実	33校	11校
単品（児童書）の電子書籍の充実	19校	9校
購入して欲しい電子書籍のリクエストの実施	11校	6校
その他	8校	3校
特になし	3校	5校

## 「その他」の内容（抜粋）

## 小学校

- ・調べ学習で使える資料の充実
- ・教科書の巻末に紹介されている書籍がほしい
- ・簡易なログイン方法の検討

## 中学校

- ・中学生向けの図書の充実（調べ学習に使ってみたいと思っても、内容が平易なため）

## (13) 読書・調べ学習における電子書籍の活用状況（高校への質問）

回答	高校
青空文庫など無料の電子書籍サービスを利用している	-
有料の電子書籍サービスを利用している	-
適当なコンテンツがないため、活用できていない	-
読書や調べ学習を行う時間的余裕がないため、活用できていない	-
紙の本で事足りるため、電子書籍は活用していない	1校
その他	-

(14) 学校図書館の利用状況をどう考えているか（自由記述回答の抜粋）

小学校

よく利用されている・活用されるようになった（19校）

- ・教職員や図書委員の関心が高く、活発に運営できている。
- ・授業利用が活発で、教職員に図書館を活用しようという意識がある。
- ・教室から近く子どもたちが足を運びやすいので、休み時間にも読書をしに来る児童が多い。
- ・授業で使える本を揃えたことで、授業での利用が安定した。
- ・蔵書の充実を図り本が借りやすい図書館になってきた。特に、授業での活用が増えている。
- ・学習時間に図書館を活用する事例が徐々に増えてきた。
- ・児童数は減少しているが、ボランティアさんによる読み聞かせやイベントなどを通じて、貸出冊数や来館人数は例年通り維持できている。
- ・図書館に来館する児童が多く、授業での活用もある。本好きな子がじっくり本を読んでいる様子が見られる一方で、読み応えのある本を読む児童が減ってきている。

学年等により利用状況に差がある（20校）

- ・1～3年生は休み時間によく利用している。高学年の利用は少ないので、高学年が興味のもてる本を増やしていきたい。
- ・雨の日や猛暑の日の休み時間の来館者数は多い。
- ・図書館がある棟と3年生から6年生の棟が離れているので、中高学年の来館が少ない傾向にある。
- ・低学年は授業を通じてよく利用していると感じる。高学年の利用状況は改善していきたい。
- ・本を借りる児童と、借りない児童の差が大きい。休み時間に本を借りる児童が固定化されている。
- ・中休み（低学年）・昼休み（高学年）で利用できる時間を分けている。高学年は休み時間も課題活動に取り組んでいるため、貸出率が低・中学年よりも低い。また、授業での利用も時間を設けることが難しい。
- ・低学年では、国語の時間に図書の時間を設けているため定期的に利用できているが、学年が進むにつれて時間の確保が難しくなる。そのため、利用状況の個人差が大きくなる。
- ・高学年が図書館から遠のく。物語の本がなかなか読まれず、図鑑系の貸出が多い。

#### あまり利用されていない（4校）

- ・本の種類は充実しているが、利用率はあまりよくないと感じている。特に高学年は委員会やチームなどの活動で中休みになかなか図書室まで足を運べないと思う。
- ・昨年度と比較すると減少している。もっと授業で利用する取り組みを増やしたい。

#### その他（1校）

- ・静かに読書ができる環境が整ってきたように思う。

#### 中学校

#### よく利用されている・活用されるようになった（7校）

- ・図書の活用のみならず、昼休みに学習をしに生徒が集まっている。総合施設として図書館が機能している。
- ・授業で積極的に図書館を利用する先生がいる。生徒たちは本を借りたり、サロンとして利用したり積極的に来館している。
- ・以前に比べると、図書館に足を運ぶ生徒は増えていると思うが、本を読むというよりは、居場所としての利用だと感じる。その機能も図書館として重要だが、本を手にとってもらえるようにしていきたい。
- ・「本を借りる場所」だけでなく、「生徒がリラックスできる場所」として利用している生徒も多い。

#### 学年等により利用状況に差がある（8校）

- ・来館する生徒が決まっている。
- ・利用しやすい環境になっているが、本が好きな生徒に利用が偏る。
- ・イベントのあるときは貸出数が増えるので、イベントがないときの図書貸出を増やすための呼びかけが重要。
- ・図書館から教室までの距離がある1・2年生の利用が少ない。
- ・昼休みの開館時間に、学校全体でSHRや清掃などの別の活動が入ることがあったため、生徒の利用は例年よりも少なくなった。また、授業での利用は一部の教科に偏っているため、学校全体で図書館の利用を推進する働きを考えていきたい。
- ・昼休みなどは毎日一定数の生徒の利用がある。一方、授業での活用はあまりないため利用を促したい。

#### あまり利用されていない（6校）

- ・生徒が日常生活を過ごしている「生徒棟」と学校図書館がある「管理棟」がとても離れていることが、利用が少ないことの要因。
- ・調べものは学習用端末を使用することが多いため、なかなか図書の利用に結びつけることができていない。
- ・開館はしているものの、休み時間には他の活動などもあるため、利用者はあまり多くない。

#### その他（2校）

- ・今年度は蔵書確認のため夏休みに貸し出しができず、年間の貸出冊数が少なかった。

#### 高校

- ・「自習室」としての利用が主になってしまっているため、もっと書籍を活用してほしいと考えている。

### (15) 学校図書館の利用促進のために工夫していること（自由記述回答の抜粋）

#### 小学校

##### おすすめ本の紹介

- ・図書委員会の推薦図書を展示している。
- ・教職員のおすすめの本の紹介。
- ・毎週木曜日に新着図書を配架。コーナーでの展示や各教室へのお知らせの配布などを実施。
- ・新着図書のお知らせ、図書委員会のポップ作り。

##### PR活動

- ・月に1回は各クラスの授業で図書館を利用するよう呼びかけている。
- ・貸出冊数ランキングの上位者に、図書ボランティアの方に作成してもらったペーパーバッグをプレゼントした。児童の励みになっている。
- ・図書館の活用例の周知。
- ・貸出冊数の視覚化。
- ・学校司書が学校図書館のクラスルームを作り、授業で使う本を載せて児童にも教員にも分かりやすくした。

### イベント・読み聞かせ

- ・学校司書によるイベント(ブックトークやビブリオバトル等)の実施。
- ・長期休み前の特別貸出の実施。
- ・学校司書や図書委員による昼休みの読み聞かせ放送の実施。
- ・図書委員会や図書ボランティアによる読み聞かせなどの実施。
- ・図書委員会で図書館ビンゴのイベントを実施。
- ・図書委員会が読書スタンプラリーや読書すごろくなどのイベントを実施。
- ・図書委員と一緒にイベントを実施(作者展、平和を祈る取り組みなど)。
- ・学校司書が毎週、低学年の授業の1コマを使って読み聞かせや本の貸出を行い、読書に親しむ素地を養っている。低学年から読書に親しんでいる学年は、高学年になっても読書に親しむ姿が見られる。

### 蔵書の充実・授業での活用促進

- ・読み物中心に児童のリクエストに応えることで蔵書の充実を図る。
- ・図書委員が学校図書館にほしい本(学習で使う本も含む)を考えながら選書することで、児童が読みたい本を充実させている。
- ・本の購入希望アンケートを全校児童と教職員に行い、その結果を購入する本の選定に利用している。
- ・学校司書と連携して、授業に必要な図書を事前に揃えている。
- ・授業の中で貸出・返却をする時間をとれるようにしている。
- ・学習の中で図書館を利用する時間を設けている。学校司書が適する本を予め選書するなど、本に触れる時間を増やしている。
- ・学校図書館の活用ができる学習内容の一覧を作成した。

### 環境整備

- ・各クラスに可動式学級文庫を取り入れ、定期的に本の入れ替えを行っている。
- ・本の配置を工夫している(シリーズ物はまとめたり、読んでほしい本を目立つ場所に配架するなど)。

## 中学校

### おすすめ本の紹介

- ・学校司書とともに、新着図書の展示を工夫しながら行っている。
- ・図書委員のおすすめの本を展示する棚を設置した。また、おすすめの本をポップで紹介し、興味を持ってもらえるようにしている。

### PR活動

- ・行事に沿った特集展示や、本を借りた生徒に手作りのしおりを渡したりするなど、生徒が本を借りたくなる工夫をしている。
- ・学校司書による校内放送や掲示物の充実。
- ・蔵書管理システム導入作業完了後に、図書館の再開をお知らせする動画を、図書委員会と連携して撮影し、昼休みに放送した。

### イベント

- ・図書委員と古本市、読書イベントを行った。

### 蔵書の充実・朝読書や授業での活用促進

- ・生徒へのリクエストの実施。
- ・読書習慣がない生徒が多いため、絵が多い本など手に取りやすい本を選書している。
- ・教科の授業での活用を教職員に呼びかけている。
- ・朝読書の時間を設け、図書館の利用を促す。
- ・各教科での図書館活用の促進を目的として、関連する図書を学校司書が用意している。
- ・授業で定期的に使用することで、足を運ぶきっかけを与えている。

### 環境整備

- ・「生徒棟」の空き教室を「生徒棟図書館」として整備した。少しでも多く、生徒が書籍に触れる機会を提供している。
- ・特別開館の実施。
- ・生徒棟に学年文庫のコーナーを整備した。
- ・新着図書が目に入りやすいように入口の付近に配置した。

## 高校

- ・本に興味を持ってもらうために、映画やドラマの原作本コーナーや季節のコーナー、新着図書のコーナーを設置し、常に新しく入れ替えている。

## (16) 調査結果の分析

令和7年度の調査結果について、学校での活動状況に例年との大きな変化は見られない。朝読書など定期的に読書時間を設けている学校数は、小学校では39校、中学校では14校であった。また、学校図書館の利用指導を全学年で実施した学校数は小学校で43校、中学校では15校という状況であり、いずれも中学校での実施割合は6割程度にとどまっている。また、学校での電子図書館の利用は前年度に比べて増加傾向にあるが、中学校での利用割合は約3割と低く、その理由としては「利用する時間がない」が最も多い。

また、今回の調査では、「学校図書館の利用状況」と「利用促進のための工夫」について、自由記述方式で意見を聞いている。多くの学校で、学校図書館のPRやイベントの開催、環境整備、そして授業での活用促進に積極的に取り組んでいる状況が見受けられる。これは学校司書が全校に配置されたことの効果であり、学校司書と教員との一層の連携が、学校における読書活動推進の重要なポイントだと考える。

これまで、令和4年度には中学校全校への学校司書の配置、令和6年度には電子図書館を全ての市立小・中学校で利用できるように整備を行い、子どもたちの読書環境の充実を図ってきた。更に今年度は、蔵書管理システムの導入が全ての学校で完了し、学校図書館の利便性が向上した。この機を捉えて、より充実した学習環境づくりの一環として、読書活動を推進していくことが重要である。

## 令和7年度 小・中学校児童生徒用 読書活動推進の状況 調査票

【問】学校名を選択してください。

【問】学年を選択してください。

【問 1-1】あなたは11月の1か月間に「紙の本」を何冊読みましたか。

・雑誌（ざっし）、マンガ以外

【問 1-2】あなたは11月の1か月間に「紙の雑誌」を何冊読みましたか。

・「紙の雑誌」にはマンガの週刊誌や月刊誌も含めます。

【問 1-3】あなたは11月の1か月間に「紙のマンガ」を何冊読みましたか。

・「紙のマンガ」にはマンガ雑誌は含めません。

【問 2】あなたは「電子書籍（でんししょせき）」を利用することがありますか。

・「電子書籍」はスマホやタブレット、パソコンなどで読む、紙でない本、雑誌、マンガをいいます。

- 1 よく利用する
- 2 ときどき利用する
- 3 あまり利用しない
- 4 利用したことがない

【問 3-1】あなたは11月の1か月間に「電子書籍の本」を何冊読みましたか。

・雑誌、マンガ以外

【問 3-2】あなたは11月の1か月間に「電子書籍の雑誌」を何冊読みましたか。

・「電子書籍の雑誌」にはマンガの週刊誌や月刊誌も含めます。

【問 3-3】あなたは11月の1か月間に「電子書籍のマンガ」を何冊読みましたか。

・「電子書籍のマンガ」にはマンガ雑誌は含めません。

【問 4】あなたが11月の1か月間に読んだ本の中に、自分で選んだ本がありましたか。

- ・11月の1か月間に1冊以上（紙の本でも電子書籍でも良い。雑誌やマンガ以外。）読んだ方に質問します。
- ・他人からすすめられた本でも、「読んでみたいな」と感じていれば、自分で選んだ本に含めてください。

- 1 自分で選んだ本が1冊以上あった
- 2 自分で選んだ本はなかった

【問5】「紙の本」と「電子書籍」のどちらを読みたいと思いますか。

- 1 紙の本
- 2 電子書籍
- 3 どちらも読みたい
- 4 どちらも読みたくない

【問6-1】これまでどんな本を読みましたか。

・あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 物語、小説、詩、エッセイ、絵本など
- 2 言葉（日本語や外国語、方言など）の本
- 3 スポーツ、芸術（音楽、図工、美術、写真など）の本
- 4 いろいろな仕事（農業、漁業、商業など）の本
- 5 技術（ものづくり、料理、手芸）や機械、乗り物などの本や図鑑
- 6 自然科学（数学、宇宙、動物、虫、植物など）の本や図鑑
- 7 社会の仕組み（政治、経済、国際理解など）や民族文化（行事、民話など）の本
- 8 日本や外国の歴史・地理の本
- 9 心や人生について考える本
- 10 調べるための本（百科事典、図鑑、横須賀などの地域資料など）
- 11 なし

【問6-2】本を読んでよかったこと、役に立ったことを教えてください。（自由記述回答）

【問7】みんなが今よりもっと本を読むための工夫として、一番効果があると思うものを選んでください。

- 1 学校で定期的に読書をする時間をつくる
- 2 学校図書館を昼休みや放課後にいつも開ける
- 3 学校図書館に読みたいと思う本を増やす
- 4 市立の図書館・図書室に、読みたいと思う本を増やす
- 5 学校のクロームブックで市立図書館の本を予約できる
- 6 大人や友達が「おすすめの本」を教えてくれる
- 7 放課後や休日に自由時間が増える
- 8 学校のクロームブックで「電子書籍」が利用できる
- 9 その他（                    ）

【問 8-1】授業ではない時間（昼休みなど）に、学校図書館を利用しますか。

- 1 よく利用する
- 2 ときどき利用する
- 3 あまり利用しない【問 8-2 へ】
- 4 利用したことがない【問 8-2 へ】

【問 8-2】学校図書館を利用しない理由を教えてください。

・問 8-1 で「あまり利用しない」「利用したことがない」と回答した方にお聞きします。

- 1 クラブ活動や塾（じゅく）など、他にやりたいことや用事があるから
- 2 学校図書館がしまっていたり、教室から遠いから
- 3 本は買う・借りるなど、読む本が手元にあるから
- 4 本に興味（きょうみ）がないから
- 5 その他（            ）

【問 9】日頃の生活の中で、自由時間に何をして過ごしていますか。

・あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 YouTube や SNS をみる
- 2 ゲームをする
- 3 テレビ番組をみる
- 4 音楽をきく
- 5 マンガを読む
- 6 絵やイラストをかく
- 7 本を読む（電子書籍を含む）
- 8 スポーツや外遊びをする
- 9 勉強をする
- 10 その他（            ）

【問 10】小さい頃、絵本などを読んでもらったことがありましたか。

- 1 よく読んでもらった
- 2 ときどき読んでもらった
- 3 あまり読んでもらわなかった
- 4 読んでもらったことがない
- 5 覚えていない

【問 11-1】あなたは本を読むことが好きですか（電子書籍を含む）。

- 1 好き【問 11-2 へ】
- 2 どちらかといえば好き【問 11-2 へ】
- 3 どちらかといえばきらい【問 11-3 へ】
- 4 きらい【問 11-3 へ】

【問 11-2】あなたはどんな目的で本を読みますか。

- ・問 11-1 で「好き」「どちらかといえば好き」と回答した方にお聞きします。
- ・あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 授業や宿題で「読まなきゃいけない」から
- 2 好きなキャラクターやシリーズがあるから
- 3 マンガや絵本など、絵を見るのが好きだから
- 4 本の世界でちがう世界を想像（そうぞう）したいから
- 5 おもしろい本や話題の本を友だちと話したいから
- 6 困ったことや、なやみごとのヒントを本でさがしたいから
- 7 新しい知識（ちしき）や知らなかったことを知りたいから
- 8 本を読むとなんだか落ち着く／ひとりになれる感じがするから
- 9 家族がよく本を読んでいるから
- 10 その他（            ）

【問 11-3】あなたが本を好きではない理由を教えてください。

- ・問 11-1 で「きらい」「どちらかといえばきらい」と回答した方にお聞きします。
- ・あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 読みたくない本を無理やり読まされたことがあるから
- 2 漢字やことばがむずかしくて内容がわからないから
- 3 どの本を選んだらよいかわからず迷ってしまうから
- 4 大人や先生に「こういう本を読め」と決められてつまらなかったから
- 5 本を読んでいたら、友だちや家族にからかわれたから
- 6 ゲームや動画、遊びなど他の楽しいことが多くて、読書に時間をとれない
- 7 学校の読書感想文などで、読書が「しなきゃいけないもの」になったから
- 8 本を読んでも、すぐにあきてしまうから
- 9 家や身のまわりに本がなくて、読むきっかけがなかったから
- 10 その他（            ）

## 令和7年度 高等学校生徒用 読書活動の状況 調査票

【問】年次を選択してください。

【問1-1】あなたは11月の1か月間に、「紙の本」を何冊読みましたか。

【問1-2】あなたは11月の1か月間に、「紙の雑誌」を何冊読みましたか。

【問1-3】あなたは11月の1か月間に、「紙のマンガ」を何冊読みましたか。  
・マンガの週刊誌や月刊誌は「雑誌」に含む（以下同じ）

【問2】あなたは、「電子書籍」を利用することがありますか。

- よく利用する
- ときどき利用する
- あまり利用しない
- 利用したことがない

【問3-1】あなたは11月の1か月間に、「電子書籍の本」を何冊読みましたか。

【問3-2】あなたは11月の1か月間に、「電子書籍の雑誌」を何冊読みましたか。

【問3-3】あなたは11月の1か月間に、「電子書籍のマンガ」を何冊読みましたか。

【問4】あなたが11月の1か月間に読んだ本の中に、自分で選んだ本がありましたか。

- ・紙でも電子でも1冊以上（雑誌やマンガ以外）読んだ方に質問します。
- ・他人からすすめられた本でも、「読んでみたい」と感じていれば自分で選んだ本に含めてください。

【問5】『紙の本』と『電子書籍』のどちらを読みたいと思いますか。

- 紙の本
- 電子書籍
- どちらも読みたい
- どちらも読みたくない

【問6-1】これまで、どんな本を読みましたか。（あてはまる回答をすべて選択）

- 物語、小説、詩、エッセイ、絵本など
- 言葉（日本語や外国語、方言など）の本
- スポーツ、芸術（音楽、図工、美術、写真など）の本
- いろいろな仕事（農業、漁業、商業など）の本



【問9】横須賀市や市立図書館の情報を見たことがありますか。(あてはまる回答をすべて選択)

- 広報よこすか
- 横須賀市ホームページ
- 横須賀市LINE
- 横須賀市X
- 市立図書館ホームページ
- 市立図書館X
- 見たことがない
- その他( )

【問10】日頃の生活の中で、自由時間に何をして過ごしていますか。(あてはまる回答をすべて選択)

- You Tube や SNS をみる
- ゲームをする
- テレビ番組をみる
- 音楽をきく
- マンガを読む
- 絵やイラストをかく
- 本を読む(電子書籍を含む)
- スポーツや外遊びをする
- 勉強をする
- その他( )

【問11】小さい頃、絵本などを読んでもらったことがありましたか。

- よく読んでもらった
- ときどき読んでもらった
- あまり読んでもらわなかった
- 読んでもらったことがない
- 覚えていない

【問12-1】あなたは本を読むことが好きですか(電子書籍を含む)。

- 好き【問12-2へ】
- どちらかといえば好き【問12-2へ】
- どちらかといえばきらい【問12-3へ】
- きらい【問12-3へ】

【問 12-2】あなたはどんな目的で本を読みますか。(あてはまる回答をすべて選択)  
・問 12-1 で「好き」「どちらかといえば好き」と回答した方に質問します。

- 授業や宿題で「読まなきゃいけない」から
- 好きなキャラクターやシリーズがあるから
- マンガや絵本など、絵を見るのが好きだから
- 本の世界で違う世界を想像したいから
- 面白い本や話題の本を友だちと話したいから
- 困ったことや悩み事のヒントを本で探したいから
- 新しい知識や知らなかったことを知りたいから
- 本を読むとなんだか落ち着く／ひとりになれる感じがするから
- 家族がよく本を読んでいるから
- その他( )

【問 12-3】あなたが本を好きではない理由を教えてください。(あてはまる回答をすべて選択)  
・問 12-1 で「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と回答した方に質問します。

- 読みたくない本を無理やり読まされたことがあるから
- 漢字やことばがむずかしくて内容がわからないから
- どの本を選んだらよいかわからず迷ってしまうから
- 大人や先生に「こういう本を読め」と決められてつまらなかったから
- 本を読んでいたら、友だちや家族にからかわれたから
- ゲームや動画、遊びなど他の楽しいことが多くて、読書に時間を取れない
- 学校の読書感想文などで、読書が「しなきゃいけないもの」になったから
- 本を読んでも、すぐにあきてしまうから
- 家や身のまわりに本がなくて、読むきっかけがなかったから
- その他( )

## 令和7年度 小・中学校用 読書活動推進の取り組みの状況 調査票

【問】 学校名を選択してください。

【問 1-1】 本年度、実施した、または実施予定の読書推進に関する活動を教えてください。

・あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 定期的に読書をする時間を設けている（朝読書など）
- 2 読み聞かせ（おはなし会）
- 3 図書委員会による取り組み（本の紹介や読書キャンペーンなど）
- 4 読書週間等での読書イベント
- 5 読書感想画の取り組み
- 6 読書感想文の取り組み
- 7 ビブリオバトル
- 8 ブックトーク
- 9 その他（                    ）

【問 1-2】 特に工夫した取り組みがあればご記入ください。（自由記述回答）

【問 2-1】 今年度、読書活動に図書ボランティアを活用していますか。（予定も含む）

・図書ボランティアとは、名称に係わらず教職員・学校司書以外の方を対象とします。

- 1 活用している【問 2-2 へ】
- 2 活用していない【問 2-3 へ】

【問 2-2】 図書ボランティアが実施する具体的な取り組みを教えてください。

・問 2-1 で「活用している」と回答した学校にお尋ねします。

・あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 読み聞かせ（おはなし会）
- 2 蔵書の受入・廃棄など
- 3 学校図書館の環境整備（掃除・飾り付けなど）
- 4 図書の貸出・返却
- 5 その他（                    ）

【問 2-3】活用していない理由を教えてください。

- ・問 2-1 で「活用していない」と回答した学校にお尋ねします。
- ・あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 活用したいが、人の確保が難しいため
- 2 どのような活動をしてもらえばよいかわからない
- 3 必要性を感じないため
- 4 その他（                    ）

【問 3-1】学校特別貸出を利用していますか。

- 1 利用している
- 2 利用していない【問 3-2 へ】

【問 3-2】利用していない理由を教えてください。

- ・問 3-1 で「利用していない」と回答した学校にお尋ねします。
- ・あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 手続きが繁雑、または分かりにくい
- 2 学校図書館にある本で用が足りるから
- 3 授業に必要ではないから
- 4 学校特別貸出の制度を知らなかった
- 5 その他（                    ）

【問 4】本年度の学校図書館の状況をお聞きします。

- 1 基本的に毎日開館している
- 2 休館日を設けている（土日祝を除く）（理由をご記入ください）

【問 5-1】自校における学校図書館の利用状況をどう考えていますか。（自由記述回答）

【問 5-2】学校図書館の利用促進のために工夫していることを教えてください。（自由記述回答）

【問 6】学校図書館の利用指導（オリエンテーション）は、1年に1回以上行っていますか。

- 1 全学年で行なっている
- 2 一部の学年で行なっている
- 3 行っていない

【問 7-1】「よこすか電子図書館」を利用しましたか。

- 1 利用した【問 7-2 へ】
- 2 利用しなかった【問 7-3 へ】

【問 7-2】 利用状況を教えてください。

- ・ 問 7-1 で「利用した」と回答した学校にお尋ねします。
- ・ あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 朝読書で利用した
- 2 調べ学習で利用した
- 3 各教科で利用した
- 4 その他 ( )

【問 7-3】 利用しなかった理由を教えてください。

- ・ 問 7-1 で「利用しなかった」と回答した学校にお尋ねします。
- ・ あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 紙の本を利用するので、電子図書館は利用しない
- 2 利用する時間がない
- 3 電子図書館の使い方がよく分からない
- 4 利用したい電子書籍が少ない
- 5 電子図書館が学校で使えることを知らなかった
- 6 その他 ( )

【問 8】 「よこすか電子図書館」に希望することを教えてください。

- ・ あてはまる回答をすべて選択してください。

- 1 電子図書館の使い方講習の実施
- 2 児童書読み放題パックの充実
- 3 単品（児童書）の電子書籍の充実
- 4 購入して欲しい電子書籍のリクエストの実施
- 5 その他 ( )
- 6 特になし

## 令和7年度 高等学校用 読書活動推進の取り組みの状況 調査票

【問 1-1】今年度、実施した又は実施予定の読書の推進に関する活動を教えてください。  
(該当するものをすべて選択)

- 定期的に読書をする時間を設けている(朝読書など)
- 読み聞かせ(おはなし会)
- 図書委員会による取り組み(本の紹介や読書キャンペーンなど)
- 読書週間等での読書イベント
- 読書感想画の取り組み
- 読書感想文の取り組み
- ビブリオバトル
- ブックトーク
- その他( )

【問 1-2】特に工夫した取り組みがあればご記入ください。(自由記述回答)

【問 2-1】本年度、読書活動に図書ボランティアを活用していますか。(予定も含みます。)  
・図書ボランティアとは、名称に係わらず、教職員や学校司書以外のすべての方を対象とします。

- 活用している【問 2-2 へ】
- 活用していない【問 2-3 へ】

【問 2-2】図書ボランティアが実施する具体的な取り組みを教えてください。(該当するものをすべて選択)  
・問 2-1 で「活用している」と回答した学校にお尋ねします。

- 読み聞かせ(おはなし会)
- 蔵書の受け入れ・廃棄など
- 学校図書館の環境整備(掃除・飾り付けなど)
- 図書の貸出・返却
- その他( )

【問 2-3】活用していない理由を教えてください。(該当するものをすべて選択)

・問 2-1 で「活用していない」と回答した学校にお尋ねします。

- 活用したいが、人の確保が難しいため
- どのような活動を行ってもらえばよいかわからないため
- 必要性を感じないため
- その他 ( )

【問 3】学校図書館の利用指導(オリエンテーション)は、1年に1回以上行っていますか。

- 全学年で行っている
- 一部の学年で行っている
- 行っていない

【問 4-1】自校における学校図書館の利用状況をどう考えていますか。(自由記述回答)

【問 4-2】学校図書館の利用促進のために工夫していることを教えてください。(自由記述回答)

【問 5】「よこすか電子図書館」を利用しましたか。

- 利用した
- 利用しなかった(理由を記入 )

【問 6】電子書籍を活用した読書・調べ学習をすることはありますか。

- 青空文庫など無料の電子書籍サービスを利用している
- 有料の電子書籍サービスを利用している
- 適当なコンテンツがないため、活用できていない
- 読書や調べ学習を行う時間的余裕がないため、活用できていない
- 紙の本で事足りるため、電子書籍は活用していない
- その他 ( )